

曾祢益關係文書目錄

国立国会図書館憲政資料室
2011年9月 PDF作成

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
1	『実業之日本』 53巻15号	実業之日本社	1950	8	1	雑誌	通巻1228号
2	『実業之日本』 54巻3号	実業之日本社	1951	2	1	雑誌	通巻1240号
3	『実業之日本』 54巻17号	実業之日本社	1951	9	1	雑誌	通巻1254号
4	『労働評論』 5巻10号	労働協会	1950	9	1	雑誌	
5	『経営者』 9巻12号	日本経営者団体連盟弘報部	1955	12	1	雑誌	通巻142号
6	『朝日ジャーナル』 2巻2号	朝日新聞社	1960	1	10	雑誌	通巻44号
7	『改革者』 21巻3号	民主社会主義研究会議	1980	6	1	雑誌	通巻243号
8	日中条約と日本外交防衛論争を再考する	曾祢益	1979	1	1	冊子	『革新』 1979新春特別号の抜刷
9	『日本政経公論』 4巻5号	日本政経公論社	1955	5	15	雑誌	
10	『革新<造反者>群像』	伊能たかし	1982	5		書籍	
11	『新しい学生生活のために』	学生土曜会	1955	12	15	書籍	
12	曾祢益のひとくち解説	曾祢益	1976			冊子	テレホンサービス集約版、時事問題編。年代・作成者は推定
13	政局の転換に処する民社党の進路	曾祢益	1971	10		冊子	
14	米軍基地問題の展望	安全保障問題研究会	1970	12	28	冊子	
15	安保に関する国民的合意の提唱	曾祢益	1968	3	20	冊子	副題「民社党の安全保障、防衛論について」、『同盟』 118号の抜刷
16	独立後日本の外交方針(試案)	曾祢益	1951	9	28	冊子	
17	日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第六条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定	外務省条約局	1960	6		冊子	条約集38集10巻
18	アメリカ合衆国と中華民国との間の相互防衛条約	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料165号
19	アメリカ合衆国と大韓民国との間の相互防衛条約	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料164号
20	アメリカ合衆国とフィリピン共和国との間の相互防衛条約	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料163号
21	軍事基地に関するアメリカ合衆国とフィリピン共和国との間の協定	外務省条約局	1949	11	5	冊子	条約集27集46巻
22	東南アジア集団防衛条約及び同条約の議定書	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料166号

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
23	オーストラリア、ニュー・ジーランド及びアメリカ合衆国間の三国安全保障条約	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料168号
24	防衛及び相互援助に関するグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国政府とマラヤ連邦政府との間の協定	外務省条約局	1958	2		冊子	条約資料91号
25	中央条約(旧バグダッド条約)	外務省条約局	1960	6		冊子	条約資料233号
26	北大西洋条約	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料167号
27	全米相互援助条約	外務省条約局	1960	6		冊子	条約資料232号
28	アルバニア人民共和国、ブルガリア人民共和国、ハンガリー人民共和国、ドイツ民主主義共和国、ポーランド人民共和国、ルーマニア人民共和国、ソヴィエト社会主義共和国連邦及びチェコスロヴァキア共和国間の友好、協力、及び相互援助条約(ワルシャワ条約)	外務省条約局	1960	1		冊子	条約資料169号
29	ソヴィエト社会主義共和国連邦とフィンランド共和国との間の友好、協力及び相互援助条約並びに関係文書	外務省条約局	1960	3		冊子	条約資料198号
30	中国(北京、上海、南京、蘇州、青島、済南、天津、蕪湖、九江)旅行A 昭和十一年 [アルバム]		1936			その他	104枚
31	昭和十一年 中国(南支)朝鮮 [アルバム]		1936			その他	73枚
32	昭和十二年 日支事変(上海) [アルバム]		1937			その他	38枚
33	昭和十二年 昭和十三年 中国、南京、上海、その他 [アルバム]		1938			その他	63枚
34	昭和二十一年八月 - 二十二年六月福岡在勤 [アルバム]		1947	6		その他	57枚(1枚破損)
35	昭和二十九年(1954) 訪中国会議員団C [アルバム]		1954			その他	68枚
36	昭和三十年バンドン会議 [アルバム]		1955			その他	48枚
37	[ファイル]					その他	38~58(「曾祢益のひとくち解説」原稿)が綴じられていたファイル
38	曾祢益のひとくち解説	曾祢益				自筆	放送回次と放送日、テーマ一覧
39	[ニセ電話事件]	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月30日から11月1日、放送年・表題は内容から推測

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
40	毛主席逝く	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月15日から9月16日、第47回。放送年は推測
41	民間労組の新しい組織	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月21日から10月22日、第61回。放送年は推測
42	新しい日本を考える会	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月16日から17日、第59回。放送年は推測
43	教育課程の改革	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月14日から10月15日、第58回。放送年は推測
44	共産党リンチ事件	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月10日から10月13日、第57回。放送年は推測
45	西ドイツ総選挙	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月7日から10月9日、第56回。放送年は推測
46	ローデシア問題	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年10月5日から10月6日、第55回。放送年は推測
47	公労協スト中止	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月29日から10月2日、第53回。放送年は推測
48	スウェーデン総選挙	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月26日から9月28日、第52回。放送年は推測
49	社会党の政権構想	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月23日から9月25日、第51回。放送年は推測
50	老人問題	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月21日から9月22日、第50回。放送年は推測
51	台風17号の災害	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月18日から9月20日、第49回。放送年は推測
52	三木改造内閣と国会召集	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月17日、第48回。放送年は推測
53	ソ連将校の亡命	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月12日、第45回。放送年は推測
54	政局の展望	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月10日から9月11日、第44回。放送年は推測
55	日米漁業交渉Ⅱ	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月9日、第43回。放送年は推測
56	自民党の政権抗争	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年9月6日から9月8日、第42回。放送年は推測

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
57	偏差値テストの実態	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日1976年8月30日から、第39回。放送年は推測
58	海洋法会議Ⅲ	曾祢益	1976			自筆	「曾祢益のひとくち解説」原稿。放送日、回数不明。同じものの二部あり。放送年は推測
59	[ファイル]	曾祢益				書類	60～75が綴じられていたファイル。表紙に「ロッキード」とあり
60	コーチャン談(朝日新聞)の要点	曾祢益				自筆	
61	[メモ]	曾祢益				自筆	「丸山防衛局長答弁」ほか
62	[メモ]	曾祢益				自筆	「若狭全日空社長たい捕」ほか
63	[ロッキード事件関連年表]	曾祢益				自筆	昭和47年から50年まで
64	灰色の定義	曾祢益				自筆	
65	灰色高官に関する法務、検察の定義と態度	曾祢益				自筆	
66	ロッキード社側の特別調査	曾祢益				自筆	
67	航空対策と全日空	曾祢益				自筆	
68	全日空、三井物産、ダグラス社との関係	曾祢益				自筆	
69	全日空社長交代	曾祢益				自筆	
70	全日空からの政治献金	曾祢益				自筆	
71	オプションの処理	曾祢益				自筆	
72	石黒証言によるオプション	曾祢益				自筆	
73	丸紅ルート of 金	曾祢益				自筆	
74	PXL白紙還元のいきさつ	曾祢益				自筆	内容は昭和47年10月～昭和50年12月まで
75	防衛庁の態度の不可解な点	曾祢益				自筆	
76	0 [封筒]					その他	76、77の入っていた封筒
76	[ノート]	曾祢益				自筆	英国労働党・保守党関連のメモ
77	[メモ]	曾祢益				自筆	人名リスト(英文)10枚
78	[スピーチ原稿]	曾祢益				自筆	
79	[封筒]	曾祢益				その他	「選挙関係資料」とあり、封筒のみ
80	[会議概要]					書類	会議名記載なし

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
81	自衛隊違憲裁判について	曾祢益				自筆	
82	日本経済の現状と展望(概要)	曾祢益		4	13	自筆	
83	[メモ]	曾祢益				自筆	「五十一年度国債発総額」ほか
84	経済問題	曾祢益				自筆	
85	西尾委員長質問(案)	曾祢益		10	16	自筆	冒頭抜粋「民主主義(、「議会議政治を一切の暴力から守れ」)
86	[池田内閣の経済新政策についての質問]	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「次に池田内閣のあるいは池田総裁のもとにおける自民党の経済新政策について質問する。」
87	[質問原稿]	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「一、経済成長についての我が党主張の展開」
88	[質問原稿]	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「池田新政策について第三に伺いたいことは、経済成長と産業構造との関係であります。」
89	[共産党リンチ事件関連]	曾祢益				自筆	
90	社会主義インターの「民主社会主義政党と共産党との関係」に対する方針	民社党外交委員会	1964	7	11	書類	
91	日本社会党鎌倉支部第六回定時大会報告	日本社会党鎌倉支部	1952	2	10	書類	
92	激動する国際情勢と我国の立場	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「一、米ソの「デタント」情勢は変わらず ウラジオストック頂上会談」
93	土井直作候補立会演説原稿	曾祢益				自筆	
94	各種補助金・援助金の整理についての要請	山崎礼二	1961	7	1	書類	部長事務局長会議幹事部長山崎礼二より書記長曾祢益宛
95	[ファイル]	曾祢益	1975 ～ 1976			その他	「講演と論文」とあり、96～111が綴じてあったファイル。表題は「講演と論文」、表紙に1～16の目録あり
96	第一、統一地方選挙と各党の消長	曾祢益	1975	6	30	自筆	ファイル(95)の目録の1。「八日クラブ政治座談会(五〇、六、三〇)」
97	第二、七十五国会と野党競闘	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の2
98	第三、民社党の理念と政綱	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の3
99	第四、日本外交の課題	曾祢益	1975	3	29	自筆	ファイル(95)の目録の4。「日産労組講演」
100	共産党リンチ事件についてサンケイ新聞に期待したいこと	曾祢益	1976	3	30	自筆	ファイル(95)の目録の5。同じタイトルのもの二点

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
101	太陽は泣かない 紹介の弁	曾祢益	1976	6		自筆	ファイル(95)の目録の6
102	日本経済上の安全保障について	曾祢益	1976	6	24	自筆	ファイル(95)の目録の7。「東横女子短大講演」
103	難病対策について	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の8
104	世界の共産主義運動と日本共産党の新しい動向	曾祢益	1976			自筆	ファイル(95)の目録の9。「講演資料 五十一年七月二十日 川崎南ロータリークラブ 八月二十五日 ヨコハマ ロータリー」
105	日米漁業交渉	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の10
106	安全保障・防衛と不可分な国民の意思の合致と平和外交	曾祢益	1976	9		自筆	ファイル(95)の目録の11。「一、安全保障、防衛と不可分な国民の意思の合致と平和外交」、「大蔵省五十二年度の社会保障予算編成…」、「米中接近（台湾の処遇）の三点
107	ローデシア問題	曾祢益		9	28	自筆	ファイル(95)の目録の12
108	三木改造内閣と今後の政局	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の13
109	政策推進労組会議の発足	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の14
110	激動期を迎える日本漁業	曾祢益	1976	9		自筆	ファイル(95)の目録の15。三浦市漁業問題シンポジウム
111	文革派首脳逮捕の経緯	曾祢益				自筆	ファイル(95)の目録の16
112	0 [ファイル]	曾祢益				その他	「外交防衛」とあり。112-1～112-9を綴じていたファイル
112	1 ワシントン、マニラ、東京サミット 大平外交の試練 (第一原稿)	曾祢益				自筆	
112	2 地方自治と国の財政	曾祢益				自著	
112	3 三木内閣の成立	曾祢益				自筆	
112	4 資源外交	曾祢益				自筆	
112	5 米ソ軍縮交渉	曾祢益				自著	
112	6 日共の欧州共産党との交流	曾祢益				自筆	
112	7 宮本復権と釈放問題について	曾祢益				自著	
112	8 大平外交の軌跡	曾祢益	1979	8	14	自筆	「五四、八、一四 川崎中ロータリクラブ卓話」
112	9 外交防衛	曾祢益				自筆	
113	0 [ファイル]	曾祢益	1976	5		その他	「政治 一般 公害 外交防衛 社共 51年5月」とあり。113-1～113-5を綴じていたファイル。新聞記事の筆写など
113	1 政治	曾祢益				自筆	

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
113 2	社共	曾祢益				自筆	
113 3	公害	曾祢益				自筆	
113 4	〔一般〕	曾祢益				自筆	見出しは付けられていないが、ファイル表題から「一般」であると考えられる。内容は「考える会が提言を発表 五、一サンケイ」など
113 5	外交防衛	曾祢益				自筆	
114 0	〔ファイル〕	曾祢益	1974			その他	114-1～114-5を綴じていたファイル。「教育第一部 育英会理事長の方針 幼稚園 大学 高校 各種学校 49-51年 5月 6月18日」とあり。新聞記事の筆写など
114 1	第一部 育英会理事長の指導理念	曾祢益	1974 ～ 1975			自筆	
114 2	第二部 幼児教育	曾祢益	1975			自筆	
114 3	第三部 高校	曾祢益	1975 ～ 1976			自筆	
114 4	第四部 大学	曾祢益	1975 ～ 1976			自筆	
114 5	第五部 各種学校	曾祢益				自筆	
115 0	〔ファイル〕	曾祢益	1974			その他	115-1～115-5を綴じていたファイル。「教育第二部 私学神奈川県 入試 塾 教育課程 主任制 一般 49年→51年 6月18日」とあり。新聞記事の筆写など
115 1	第一 私学		1975			自筆	
115 2	第二 神奈川県					自筆	
115 3	第三 入試					自筆	
115 4	第四 塾					自筆	
115 5	第五 その他 教育課程 主任制 高等教育の整備 etc.					自筆	
116 1	質問原稿	曾祢益	1955	5	27	自筆	116-1～9まで綴じひもで一括。参議院第22回議会本会議、日ソ国交正常化交渉に関する質問原稿
116 2	緊急質問	曾祢益	1955	3	25	自筆	参議院第22回議会本会議、当面の外交問題に関する緊急質問の原稿
116 3	MSA関係協定に対する質問要旨	日本社会党 曾祢益	1954	3	19	自筆	

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
116	4 緊急質問原稿	曾祢益	1954	4	28	自筆	参議院本会議、フィリピン賠償問題並びに東南アジア外交に関する緊急質問の原稿
116	5 第十九国会予算委員会質問要旨	曾祢益	1954	3		自筆	
116	6 MSAに対する党の態度（案）	政策審議会外交政策委員会	1954	3	11	書類	
116	7 質問原稿	曾祢益	1954	12	24	自筆	参議院第19回議会議本会議、「奄美群島に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定の締結について承認を求めるの件」に対する質問原稿
116	8 外相に対する質問要旨（第十七回臨時国会）	日本社会党 曾根益				自筆	「取り止め、要旨、永井尾一郎氏の質問に含めた」と書込みあり
116	9 第十六回国会における吉田内閣総理大臣施政方針演説要旨		1953	6	16	書類	「第十六回国会における吉田内閣総理大臣施政方針演説要旨（昭二八、六、一六午後一時）」、「第十六回国会における外務大臣の外交方針演説」、「第十六回国会における小笠原大蔵大臣の財政演説」、「第十六回国会における経済審議庁長官の経済演説」の計四点
117	曾祢書記長談	民主社会党	1961	6	2	書類	1961年6月2日曾祢書記長談の筆記
118	立会演説草稿	曾祢益	1976			自筆	清書。年代は推定（第34回総選挙時のものか）
119	〔立会演説草稿〕	曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
120	公報本文原稿	民社党顧問 曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
121	参議院予算委員会にて（総括質問）		1959	11	17	書類	宮川隆義事務所用原稿。1959年11月17日、参議院第33回議会議予算委員会、安保条約改定問題に関する質問の筆記
122	放送原稿	曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
123	政見放送の要点	曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
124	立会演説原稿	曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
125	〔立会演説原稿〕	曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
126	放映の原稿	曾祢益	1976			自筆	年代は推定（第34回総選挙時のものか）
127	〔選挙公報掲載原稿ゲラ〕	神奈川県選挙管理委員会	1976			書類	「曾祢先生 波戸 選挙公報最終版です。赤書き2点を修正し、11月16日に提出届出の予定。」とのメモ添付
128	民社党の大会と党の進路について	曾祢益	1975	4		冊子	
129	民社党訪中団の成果とその評価について	曾祢益	1972	4	16	冊子	
130	佐助たより	曾祢益後援会事務局	1968	12	31	冊子	曾祢「私の歩んだ道」第1回掲載

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
131	『朝日新聞』	朝日新聞社	1979	9	8	新聞	曾祢引退関連記事掲載
132	『読売新聞』	読売新聞社	1982	8	16	新聞	「終戦詔書秘話 曾祢益メモ 国立公文書館で発見」切抜
133	『神奈川新聞』	神奈川新聞社	1979	2	9	新聞	「25年の国会議員生活 衆院が勤続表彰 民社党の曾祢益代議士」切抜複写
134	『夕刊新佐賀』	夕刊新佐賀新聞社	1980	5	3	新聞	園田日吉「曾祢益父子を憶う」複写
135	〔曾祢益宛書簡〕	加藤シヅエ	1979	6	9	書簡	原稿への礼状
136	〔ファイル〕	曾祢益				その他	表紙に「曾祢益君用」とあり、137～235の資料を保管
137	『日本社会新聞』	日本社会新聞社	1955	9	26	新聞	「日本社会党規約草案」ほか、書込あり
138	統一大会経過報告	日本社会党統一大会準備会	1955	10	13	冊子	
139	運動方針報告に含まるべき部分					書類	日本社会党政策審議会原稿用紙2枚
140	運動方針報告に含まるべき部分					書類	日本社会党政策審議会原稿用紙2枚
141	一九五六年度運動方針書	日本社会党				冊子	
142	〔メモ〕					書類	「綱領の統一解釈」、日本社会党政策審議会原稿用紙2枚
143	新綱領堅持に関する決議					書類	
144	国際平和確立の方途	両社綱領政策委員会		9	1	書類	書込あり
145	国際情勢分析(案)		1955	10	7	書類	「運動方針」とあり
146	国内情勢分析(案)		1955	10	7	書類	「運動方針」とあり
147	政局の動向と我が党の態度(案)		1955	10	7	書類	「運動方針」とあり
148	日常闘争の基本方針(案)		1955	10	7	書類	「運動方針」とあり
149	国際経済分析(案)		1955	10	7	書類	
150	新しい党づくり		1955	10	7	書類	副題「統一社会党の組織活動方針」
151	国際情勢分析(案)		1955	9	30	書類	「確定」ほか書込あり
152	国際経済分析	日本社会党(左)				書類	書込あり
153	国内情勢分析(案)	日本社会党(左)				書類	「確定」ほか書込あり
154	政局の動向と我が党の態度(案)		1955	10	1	書類	「確定」ほか書込、張紙あり
155	日常闘争の基本方針					書類	

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
156	〔基本的な態度と方針〕	日本社会党(左)				書類	冒頭抜粋「われわれの完全なる独立を獲得するための闘争は、当然に安保条約、行政協定の解消を必要とする。」
157	〔われわれの独立闘争〕					自筆	冒頭抜粋「われわれの独立闘争は従つて日本を中心とする国際平和と安全をかたく結ばれており、両陣営のいずれかの勢力抗争の具に…」
158	新らしい党づくり					書類	副題「統一社会党の組織活動方針」、「確定」ほか書込あり
159	日常闘争の基本方針					書類	書込あり
160	経済情勢分析	日本社会党(左)				書類	書込あり
161	政局の動向と我が党の態度(案)		1955	10	1	書類	書込あり
162	情報通信 146号	日本社会党教宣局	1955	9	15	冊子	2部、「日本社会党綱領(案)」、書込あり
163	綱領草案に関する要望決議	日本社会党第十四回全国大会	1955	9	20	書類	「参考資料」とあり、ほかに「決議」・「労農党に関する決議」
164	統一大会準備委員					書類	
165	独立と平和と安全保障					書類	
166	当面の政策要綱(案)					書類	書込あり
167	日本社会党政策大綱	日本社会党政策委員会	1955	10	3	書類	書込あり
168	〔日本社会党政策大綱〕					書類	前文～第五まで。書込あり
169	〔日本社会党政策大綱〕					書類	第三～第五まで、内容を多少異にする二部あり。一部は表紙に「最近案」とある。二部とも書込みあり
170	〔日本社会党政策大綱〕					書類	「経済の新建設」、「社会保障と住宅」、「文化と新建設との融合」
171	わが国経済再建方策(案)	日本社会党政策審議会	1955	9	21	書類	書込あり
172	経済政策(案)	日本社会党				書類	「参考資料」とあり
173	拡大中央委員会スローガン					書類	書込あり
174	規約前文(案)	両社組織運営小委員会	1955	9	13	書類	「日本社会党規約草案」とあり、書込あり
175	日本社会党規約			9	12	書類	書込あり、「左社案」とあり
176	青年部要綱					書類	
177	民族の希望、統一社会党政権の完成					書類	日本社会党本部原稿用紙1枚、手書き。「(九月十二日)左派提案(左社大会)」と書込みあり

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
178	対ソ国交調整に関する態度			9	1	書類	「右」とあり
179	日中国交調整に対する態度			9	1	書類	「右」とあり
180	当面の活動方針について					書類	表紙に「右社、曾祢益殿」「修正等」「左社」とあるほか書込あり
181	国際情勢分析			9	8	書類	書込あり。「参考資料」とあり
182	当面の活動方針について					書類	表紙に「9. 8. 左社から提示」と書込あり
183	当面の活動方針草案		1955	9		書類	表紙に「参考資料」とあるほか書込あり
184	前文	両社統一委員会		9	3	書類	日付の「3」が「12」に訂正のほか書込あり
185	日本の現状	社会党統一委員会		8	31	書類	書込あり
186	平和革命と民族独立闘争	社会党統一委員会		8	31	書類	書込あり
187	第三章 党の任務と性格	社会党統一委員会		9	12	書類	書込あり
188	第四章 社会主義の目的					書類	書込あり
189	第三章 党の任務と性格					書類	書込あり
190	第四章 社会主義の目的					書類	書込あり
191	修正案	右社綱領委員会		9	2	書類	「左社第一次案に対する」ほか書込あり
192	左社第二次案					書類	書込あり
193	修正案					書類	欠
194	申入	滝田実	1955	9	2	書類	全日本労働組合会議議長滝田実より日本社会党中央執行委員長河上丈太郎宛、冒頭抜粋「両派社会党の統一に関する綱領基本方針の折衝経過と到達した妥協案といわれるものについては…」
195	党の任務					書類	カーボンコピー
196	情報通信 129号	日本社会党教宣局	1955	3	25	冊子	日本社会党政策審議会「綱領政策関係資料特集」(1955. 3. 20)
197	〔綱領草案〕					書類	書込あり
198	国内、国際労働運動に対する態度	両社統一委員会		8	31	書類	
199	日本の現状	左社統一委員会				書類	書込あり
200	平和革命と民族独立闘争	左派社会党統一委員会		8	30	書類	書込あり

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
201	日本の現状	左社統一委員会				書類	「二次案」とあり
202	平和革命と民族独立闘争	左派社会党統一委員会				書類	「第二次案」ほか書込みあり
203	社会主義革命					書類	書込あり
204	平和革命と民族独立闘争	左社統一委員会				書類	書込あり
205	整理案	綱領政策小委員会				書類	内容は「一、社会主義の目的」「二、党の任務」「三、平和革命の方式」「四、共産主義に対する批判」など。書込あり
206	綱領政策に関する調整案	綱領小委員会		8	2	書類	
207	[綱領草案]					書類	表紙に「左」とあるなど書込あり。冒頭抜粋「一、このような社会主義本来の目的、ならびに日本の現におかれている事態から背負わされた日本独立の任務を…」
208	[綱領草案]					書類	冒頭に「左」と書込あり。内容は「A、政治的民主主義」「B、「国際秩序及び平和」
209	[綱領草案]					書類	日本社会党政策審議会原稿用紙1枚。冒頭抜粋「一、日本社会党は、自由にして民主的な労働運動を支持する。」
210	日本の現状分析	綱領政策小委員会(右)		8	5	書類	書込あり
211	日本の現状の分析					書類	手書き原稿、日本社会党政策審議会原稿用紙4枚
212	日本の現状分析	綱領政策小委員会(右)		8	5	書類	
213	日本の現状分析(左社)	左社				書類	書込あり
214	日本の現状と独立の性格					書類	書込あり
215	共産主義に対する批判					書類	書込あり
216	国際平和確立の方途	左社政策審議会				書類	作成者は「左社政策審議会」が「左社統一委員会」に訂正されている。冒頭に「左」とあるほか、書込あり
217	外交方針					書類	冒頭に「左」とあるほか書込あり
218	国際平和確立の方途	(右)綱領委員会		8	17	書類	書込あり
219	規約前文(右社案)					書類	書込あり
220	規約前文(案)					書類	「秘 左社案」とあり
221	規約前文(案)	両社組織運営委員会	1955	8	19	書類	
222	労働基本方針(案)					書類	書込あり
223	国内国際労働運動に対する態度					書類	書込あり

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
224	国内国際労働運動に対する態度	綱領政策小委員会(右)		8	5	書類	書込あり
225	綱領政策問題整理案		1955	7	23	書類	
226	綱領政策問題整理案			7	20	書類	
227	綱領政策関係整理案	右社小委員		7	16	書類	書込あり
228	綱領政策問題整理案		1955	7	21	書類	同じコピーが3部あり、それぞれ異なる書込あり
229	一、社会主義の目的					書類	内容は「一、社会主義の目的」「二、社会主義と民主主義」「三、党の性格、任務、構成」「四、日本の現状に関する規定」「五、帝国主義、ファシズム、共産主義」「六、国際国内労働運動に対する態度」。書込あり
230	綱領政策小委員会中間報告(三)	綱領小委員会		7	14	書類	
231	情報通信 142号	日本社会党教宣局	1955	8	5	冊子	「統一へ着実に進む 八項目の自由討議を終了」
232	情報通信 137号	日本社会党教宣局	1955	6	15	冊子	「綱領小委員会の進捗状況に関する中間報告」
233	情報通信 140号	日本社会党教宣局	1955	7	15	冊子	「綱領政策合同委員会中間報告(二)」
234	情報通信 137号	日本社会党教宣局	1955	6	15	冊子	「綱領小委員会の進捗状況に関する中間報告」
235	情報通信 134号	日本社会党教宣局	1955	5	15	冊子	「統一社会党綱領 わが党案決る」
236	0 [ファイル]	曾祢益				自筆	236-1～236-55を綴じていたファイル。表題に「寄稿原稿綴」とあり
236	1 中共の外交政策	曾祢益	1955	7		自筆	「30年7月 放送原稿 文化？」と書込みあり
236	2 中共の外交政策	曾祢益				自筆	
236	3 労働党代表団の印象記	曾祢益	1954	9		自筆	「29年9月 読売」
236	4 東北放送放送原稿	曾祢益	1953	9	21?	自筆	
236	5 日米合同委員会と日本の軍事基地化	曾祢益		8	23	自筆	「改造社 八月二十三日渡し」と書込みあり
236	6 サンフランシスコ会議と講和後の日本外交	曾祢益	1951	8	15	自筆	「実業の日本 26/8/15 渡」と書込みあり
236	7 サンフランシスコ会議と講和後の日本外交	曾祢益				自筆	表題は「講和後の日本外交の進路と当面の課題」を訂正したもの
236	8 我が党の平和理論	曾祢益		3	16	自筆	「三月十六日世界渡(改造社)」と書込みあり
236	9 岡崎外相に対する公開状	曾祢益		8	22	自筆	「政策往来 八月二十二日渡し」と書込みあり
236	10 重光葵論	曾祢益	1952	5	10	自筆	「朝日 27/5/10」と書込みあり

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
236 11	中国政府の選択	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「吉田総理のダレス氏宛書簡の発表は…」
236 12	中国政府の選択について	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「問題の第一点は果して日本の選択の自由があるかであるが、対日平和条約には…」
236 13	対日講和と印度の不参加	曾祢益		9		自筆	「総同盟 3 9月」と書込みあり
236 14	批准国会と社会党の講和に対する投票	曾祢益				自筆	「真相 編集」と書込みあり
236 15	朝鮮停戦と対日講和問題	曾祢益	1951	7	25	自筆	「26/7/25渡」と書込みあり
236 16	最近の国際情勢について	曾祢益				自筆	「大阪府連」と書込みあり
236 17	[書簡]	総同盟大阪連合会主事 山口正義	1951	2	22	書簡	日本労働組合総同盟大阪連合会、昭和26年2月22日発、日本社会党本部曾祢益宛封筒つき。封筒は236-18にクリップで留められていた。
236 18	地方選挙と講和問題	曾祢益				自筆	「大阪総同盟」と書込みあり
236 19	ダレス特使の再来朝と講和問題	曾祢益				自筆	「刷後総同盟」と書き込みあり
236 20	朝鮮動乱と国際情勢の展望	曾祢益				自筆	「私鉄総連」と書込みあり
236 21	一九五一年に当たり国際情勢の展望	曾祢益				自筆	「全鉄」と書込みあり
236 22	最近の世界社会民主主義勢力の動向	曾祢益	1950	12	11	自筆	「社会文芸一月号原稿 二五年十二月十一日渡」と書き込みあり
236 23	外交方針に関する大会決議案	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「日本社会党第七回大会は日本民族の独立、日本の経済自立…」
236 24	情勢判断	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「1、アメリカ及び西欧の再武装 一九五〇年六月に発生した北鮮軍の南鮮侵略は、…」
236 25	対日講和問題の見通し	曾祢益				自筆	
236 26	朝鮮動乱の見通し	曾祢益	1950	12	12	自筆	副題「西欧の苦悩と日本の立場」。「総合運動戦争号原稿 25/12/12渡し」と書き込みあり
236 27	社会思潮	曾祢益				自筆	冒頭抜粋「はしがき 最近の国際情勢を一言にして云うならば、一面に於て朝鮮動乱を契機とする西欧陣營の防衛力の強化と…」
236 28	講和会議に何を望むか	曾祢益				自筆	昭和25年11月25日、東洋経済新報社整理部より曾祢益宛の原稿掲載願つき
236 29	社会党は講和問題をどう考えるか（帝国石油労組宛）	曾祢益				自筆	「講和問題」と書き込みあり
236 30	労働教育推進の秋	土井直作				自筆	

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
236 31	対日講和問題の焦点	曾祢益			30	自筆	「30日」と書き込みあり
236 32	国連支持に関する党の態度	曾祢益				自筆	
236 33	労働評論原稿	曾祢益		7	31	自筆	「労働評論原稿 7/31渡」と書き込みあり
236 34	如何なる安全保障を生むべきか	曾祢益		7	31	自筆	「7/31放送原稿 7/28渡」と書き込みあり
236 35	領土問題に関する決議案	曾祢益				自筆	「(島清君他 名提出)」と書き込みあり
236 36	国連軍との協定に関する緊急質問要旨	曾祢益		7	21	自筆	7月21日参議院本会議、緊急質問要旨
236 37	中華民国との平和条約の締結について	曾祢益	1952	7	5	自筆	昭和27年7月5日本会午前の部、討論要旨
236 38	北太平洋の公海漁業に関する国際条約に対する反対討論	曾祢益				自筆	
236 39	国際連合の加盟について承認を求めるの件	曾祢益	1952	6	4	書類	昭和27年6月4日本会討論要旨 (メモ)
236 40	ポツダム宣言の受諾に伴い発生する命令に関する件に基づく外務省関係諸命令の措置に関する法律案に対する修正案	曾祢益				書類	
236 41	緊急質問	曾祢益	1952	2	6	自筆	昭和二十七年二月六日第十三国会本会議
236 42	第十三国会緊急質問	曾祢益	1952	2	6	自筆	昭和二十七年二月六日本会議
236 43	吉田総理に対する質問 (外交の部)	曾祢益				自筆	「衆議院 水谷長三郎氏」
236 44	昭和二十六年十一月十八日本会議 (両条約)	曾祢益				自筆	
236 45	吉田総理に対する質問原稿	曾祢益	1951	10	29	自筆	於参議院両条約特別委員会
236 46	吉田総理に対する質問要旨	曾祢益	1951	10	29	自筆	於参議院両特別委員会「(二十六年拾月二十九日 平和安保両特別委員会)」と書き込みあり
236 47	総理に対する質問要旨	日本社会党 鈴木義男				書類	
236 48	吉田総理に対する質問要旨 (案)	曾祢益				自筆	「浅沼書記長 二六、八、一七」と書き込みあり
236 49	吉田総理に対する質問要旨	曾祢益		5	18	自筆	「五月十八日 参議院外務委員会に於て 曾祢益」と書き込みあり
236 50	吉田総理に対する質問要旨	曾祢益	1951	5	18	自筆	参議院速記課からの借用書類付
236 51	吉田総理に対する質問要旨	曾祢益		5	18	自筆	五月十八日参議院外務委員会
236 52	施政方針に対する質問要旨	曾祢益				自筆	「第十国会」と書き込みあり
236 53	第十国会 吉田総理に対する質問要旨	曾祢益		2	15	自筆	第十国会参議院外務委員会
236 54	総理大臣に対する質問要旨	曾祢益		12	6	自筆	「第九国会外務委員会」と書き込みあり

曾祢益関係文書目録

番号	標題	作成者	年	月	日	種類	備考
236	55 施政方針に対する質問事項	曾祢益				自筆	「第八国会」と書き込みあり